

## 9-2 日本のアマチュア無線の始まり

日本に無線電信法が制定されたのは、アメリカでARRLが誕生した翌年の1915年(大正4年)でした。無線電信法はできたのですが、まだアマチュア無線は認められていませんでした。そのような中で、日本の先輩たちは電波による交信実験を始めていました。1926年(大正15年)3月5日には、それまで別々に活動していた関東と関西のアマチュア無線グループが交信に成功したという記録が残っています。

そして、いよいよ日本のアマチュア無線の幕開けです。日本アマチュア無線連盟(JARL)が産声を上げたのはIARUが誕生した翌年の1926年(大正15年)6月12日で、発足時の盟員は38名、そのニュースは電波を使って世界中に打電されました。これが、現在のJARLの前身です。

**JARL** <http://www.jarl.or.jp/>

日本でアマチュア無線が法律で認められたのは1927年(昭和2年)で、そのときの呼び名は私設無線電信無線電話実験局でした。写真9-1は、当時の私設無線電信無線電話実験局のようすです。

その後、1932年(昭和7年)には日本で最初の女性局(鈴木千代乃さん、写真9-2)が誕生、1935年(昭和



写真9-1 1927年ごろの私設無線電信無線電話実験局のようす



写真9-2 日本初の女性による無線局局長は鈴木千代乃さん。